

## 日本発ドイツ便り～フランケン地方へようこそ Nürnberg～

予告どおり、フランケン地方第2弾です。

Würzburg からさらに電車に乗って、1.5時間程度。

やっと今回の目的地である Nürnberg(ニュルンベルク)に到着！

Nürnberg と聞いて何を思い出しますか？音楽好きの方なら、ワーグナーのオペラ、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」(私も題名しか知りませんが)、もしくは世界史の教科書に載っていた「ニュルンベルク裁判」でしょうか？それとも有名なクリスマス市、Christkindlmarkt?それともニュルンベルガーという名前の小さな焼きソーセージ？

Nürnberg は、ナチ党の党大会が開かれる場所でもあったそうで、ミュンヘン・ベルリンともに、ドイツの中でももっとも戦争による被害の大きかった街です。90%が破壊されたとか。

もちろん、今は綺麗に修復され、中世の雰囲気も残す、石畳の素敵な街です。

あとは、画家のデューラーの生まれた街としても有名です。難しいことはこのくらいにして…。

まず、この街、旧市街の部分(中心部ですね)は城壁に囲まれています。

Nürnberg は、ドイツでは比較的大きな街の部類に入りますが、観光という意味ではすべて徒歩で十分なくらいの広さです。



Nürnberg には大聖堂が2つあります。これは St. Lorenz-Kirche 聖ローレンツ教会



そして、これは、ドイツのクリスマス市のツアー案内パンフレットには必ず登場する Frauenkirche(聖母教会)。丁度、クリスマス市の屋台跡の撤収作業中でした。この聖母教会の前が大きな広場になっていて、そこにクリスマス市が立ちます。なかなか綺麗だろうなあ。また Nürnberg を訪れる口実も必要ですからね。



これは、この広場にある、Schöner Brunnen(シェナー・ブルンネン:訳すと美しい泉。これは、ウィーンの Schönbrunn(シェーンブルン)と同じことですね。)という噴水(?)です。最初、遠くから見て、Weihnachtspiramide(ヴァイナハツ・ピラミーデ:クリスマス・ピラミッド)かと思いましたが、「噴水」だそうです。(どっから水が出るんだろう?)



ちょっと見つけにくいかもしれませんが、矢印のところの金の輪があるのが分かりますでしょうか? この輪っかを願い事をしながら3回まわすと、願いが叶うんだとか…。そんなに簡単でいいんやろか? この金の輪、2箇所あって、ひとつは「願いごとをかなえたい人」用で、もうひとつは「子供が欲しい人」用だそうです、どっちがどっちか良くわかりません。

途中には青空市場もでていましたよ。



ついつい、こういうところで何か買いたくなりますね…。野菜に果物、チーズにお花、お惣菜、パン

にお菓子を蜂蜜や紅茶。何でもそろいます。もちろん、買い食い関係も。ね。

ところで、最初に書きましたが、Nürnberg は Nürnberger(ニュルンベルガー)という焼きソーセージで有名な街なんです。



数ある焼きソーセージの中でも一番の老舗。そこには、テイクアウト用(というか買い食い用)の屋台も！焼きソーセージ3本をパンに挟んだものです。お店で食べるときは、付け合せはSauerkraut(ザワークラウト:ご存知酢漬けのキャベツですね。)で決まり！一本一本が小さいので、6本とか8本とか、偶数の単位で注文するそうです。

この屋台の近くには、「ドイツで最古のワイン居酒屋」というものがありましたよ。なんと、1498年！だそうです。凄すぎる…。思わず、「今何年だっけ？」と考えてしまいました。

ところで、ぜんぜん関係ないですが、2006年、ミュンヘンのクリスマス市が、200周年を迎えた、という記事を読みました。「にひゃくねん？」なんて驚いてはいけません。記事は続きます。「でも、200年といっても、ドイツの他のクリスマス市と比較すると、新しい部類に入る。」そうです。

200年でも新しい…。「新しい」「古い」の感覚って、こんなに違うものなんですね。

ちなみに、ここNürnbergのChristkindlmarktは400年の歴史を持つそうです。これで驚いてはなりません。我が(?)ウィーンでは、13世紀には、「Dezembermarkt」(12月市)と名前は違うものの、現在のクリスマス市の前身となる市が開かれていたとのこと。うーん、確かに200年は新しい部類かもしれません…。

もうひとつ余談ですが、日本の屋台でも欠かせない「りんご飴」これが世界で始めて売られたのはNürnbergだそうですよ。



途中で見かけた建物。屋根にも窓がぼこぼこ開いています。  
他の街ではあんまり見たことがないような…。Nürnberg では他にもたくさんありました。

そしてどんどん坂を上って(道はずっと、石畳です。)



高台にそびえる Kaiserburg (カイザーブルク)  
なんと、15-16 世紀の神聖ローマ皇帝のお城なんだそうです。写真左の塔には登れます。  
階段好きの方は是非どうぞ。登らなくてもテラスになっているので、市内が見渡せます！



こんな感じで、複雑にいるんな建物が混在。木組みの建物が可愛い感じです。



テラスからみた Nürnberg の街。レンガ色に統一されています。



夜景も見に行っ、それはそれはロマンチックでしたが、上手く写真が映りませんでした。  
「見たい！」方は、是非ご自分で体験してみてください！



この Kaiserburg のすぐ横。というかその一部ですが、なんと、ここ、Jugendherberge(ユージェントヘアベルゲ:ドイツ語でユースホステルのこと。)なんですよ！ドイツには、いくつか古城を改造したユースホステルがありますが、ここもその一つです。さすがに人気があってなかなか予約が難しい

そうです。なんと朝食付きで一泊 20 ユーロ程度とのこと。ちょっと泊ってみたいですねー。このユース、ユースじゃない年齢の人でもユースホステルの会員(要会費)になれば誰でも宿泊可能とのことです。このユースホステルの発祥の地は、ドイツってご存知でしたか？



歩いていると、横道にこんな建物が見えました。よく見てください。目の錯覚ではありません。一階部分より、2階部分のほうが飛び出しているのが分かりますか？ものすごくバランス悪そうに見えますが、実はものすごくしっかりしているそうです。見れば見るほど不思議な感じ。(木組みの家は、こういうバランスのものが多いです。)いったい中はどうなってるんだろ？実はすぐ横に「デューラーの家」というのがあったようなのですが…。分からなかった…。



Pegnitz(ペグニッツ川)という川も流れています。  
この建物は、昔は救済院、そして今は、有名なレストランだそうです。  
水辺で、見た目には綺麗ですが洪水の時にはどうなるんだろう??



もう一つ、橋からの眺め。この日もあいにくの雨でしたが、やっぱり冬のドイツ(特にバイエルン)で青空に遭遇するのはめったにないですね。ま、それも雰囲気があって良いか。と前向きに。



クリスマス市跡より・・・。

今回は行けませんでした。名前からして面白そうな「職人広場」とか、「おもちゃ博物館」とか鉄道ファンには「DB博物館」とかあるそうです。あぁ。また行かないとあかん・・・。  
ちょっとはまりそうなフランケン地方シリーズ、次回はたぶん、「食べ物編」で終了かな？

以上 Nürnberg のご紹介でした！ご意見・ご感想・その他、楽しみにしています！